

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: IRチーム 小岩朋紀

TEL: 03-3862-2768

◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

6月度(単月)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ	69,519	82,679	118.9%
メイキングトイカテゴリ	1,032	496	48.0%
その他(遊具・乗り物・育児等)	14,357	2,197	15.3%
海外販売・ロイヤリティ収入	13,585	22,108	162.7%
合計	98,492	107,480	109.1%

2～6月度(累積)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリ	443,979	395,369	89.1%
メイキングトイカテゴリ	7,369	2,122	28.8%
その他(遊具・乗り物・育児等)	65,536	22,314	34.0%
海外販売・ロイヤリティ収入	75,562	67,054	88.7%
合計	592,445	486,859	82.2%

◆6月度発売新商品・リニューアル商品

当月は新商品およびリニューアル商品の発売はありません。

◆6月度および直近TOPICS

●先月ローンチした乳児・知育・構成玩具カテゴリの「1curiosity®(ワンキュリオシティ)」が自社ECに加え、実店舗でも販売が好調です。平常月でありながら商品が高い回転を見せている背景には、専用什器と体験サンプルの効果が大きく寄与しています。実際に店頭でお子さまの遊ぶ様子を通じて「これ本当によく遊ぶ」という手応えに加え「子ども自身が遊びを生み出している！」そんな他のおもちゃにはない特徴に親御さんが気づきはじめています。

同商品の英国・台湾展開についてはローンチから日が浅いため、今はまだ結果の全容は見えておりません。次月度にて、初動の動きを含めてご紹介できればと考えておりますが、海外市場でもローンチイベントが盛況となり、手応えのあるスタートが切れております。

なお国内において次月度は既存カテゴリで複数の新商品のローンチを予定しており、さらなる展開にご期待いただければ幸いです。

●直近のメディア掲載情報

・2025/7/2 【プレスリリース】代官山T-SITE「1curiosity」発売記念イベント開催報告

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000230.000045493.html>

▼ 同イベントの様子についての動画はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=8ovg5kDS194&t=6s>



■IR note新連載「IあるIRピープルIR担当の試行錯誤」のご案内

IR担当によるnote連載を始めました。数字だけでは伝わりにくい、現場の声や取り組みの背景をお届けしてまいります。ぜひご覧ください。▶ https://note.com/people_pr/m/m48d1b60a398c

昨年および一昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではバーパスのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第一弾を2025年春(2026年1月期)にローンチしました。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。

また、2022年より活動を開始した当社「ピープル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあげわうワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行っております。

①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ

・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン

・周年イベントの開催(2026年1月期: やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちゃ15周年)

②PR、IR活動にリソースを割き、情報発信力を強化

(ご参考) 業績予想(2025年6月2日公表) 2026年1月期第2四半期(2025年1月21日～2025年7月20日) 業績予想

	2026年1月期第2四半期 業績予想 (百万円)	前年同期間比(%)
売上高	586	81.7
営業利益	△175	—
経常利益	△176	—
当中間純利益	7	—